

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2021.02 >

BULLETIN

2020年7月～2021年6月



国際会長 Jacob Kristensen「VALUES , EXTENSION and LEADERSHIP」(デンマーク)
アジア太平洋地域会長 David Lua「Make A Difference / 変化をもたらそう」(シンガポール)
東日本区理事 板村哲也「Let' enjoy Changes / 変化をたのしもう！」(東京武蔵野多摩)
関東東部部長 柿沼敬喜「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」(東京グリーン)
クラブ会長 西澤紘一「ワイズの絆を広げよう」(東京グリーン)

会長 西澤 紘一
副会長 浅見 隆夫
副会長 青木 方枝
書記 布上征一郎
会計 青木 方枝
監事 柿沼 敬喜
担当主事 木村 卓司

2月タイム オブ ファースト

飢えている人に心を配り、苦しめられている人の願いを満たすなら、あなたの光は、闇の中に輝き出(い)で、あなたを包む闇は、真昼のようになる。

< 思いやりのある心をもって日々を過ごしましょう。 >

(イザヤ書 58:10)

2021年02月 第一例会



ZOOM オンライン例会

日時:2021年2月17日(水) 15:00～17:00

Zoom 司会:布上君

開会点鐘 西澤会長
聖句・お祈り 西澤会長

今月の一言 西澤会長
関東東部 後期に臨んで 柿沼部長

フリートーク 発言希望のメンバー
例会の在り方 / EMCへの意見 / その他
各事業委員会報告など

神田川船の会開催検討 目黒委員長の提案資料
YMCA 情報 木村 君
Happy Birthday (柿沼敬喜メン 西本東司・晃子メン
高谷恵子メット 計4名)
閉会点鐘 西澤会長

【例会出席率】

在籍:16名 メーキャップ2名 出席率 11/16 69%

出席:1月20日(水) Zoom新年会 9名接続参加

【ニコニコ】1月はZoom例会 ニコニコはありません。

荒野の断食を終えて クラブ会長 西澤紘一

2月例会は「Time of Fast」として世界の貧困に思いを馳せ夕食を抜く、つまりプチ断食がワイズの習わしになっている。奇しくも本日(2月17日)は、「灰の水曜日」と呼ばれ4月4日の復活祭(イースター)の40日前(日曜日を除く)に相当する。40日と言うのは、キリストが宣教前に荒野で40日間断食をして悪魔の誘惑に堪えたことに由来している。「灰」とは、悔い改めを意味しており復活祭に向かって新たに心の備えをする日でもある。

ところで、1979年当時汚染のひどかった神田川の浄化を目標に「神田川船の会」が発足した。これはガイド付き小型遊覧船で地域の人たちに年2回クルージングを楽しんでもらうプログラムである。特に1984年秋から地元の小学生を招待し、川から眺めた街並みの近代化、徐々に清浄化してゆく川の流れを体験学習してもらうことも始めた。

40余年にわたって歴史を紡いできたこの「神田川船の会」は、YMCAの社会貢献の一環として当東京グリーンクラブが営々と続けていたが、2019年秋のクルージングが台風19号襲来のため直前で中止を余儀なくされて以降、2020年度はコロナ禍で全く実施が出来ず、まさに「荒野の断食状態」であった。

その中であって昨年10月13日、千代田区立昌平小学校4年生の皆さんに校外学習の一環として神田川船の会のプログラムを取り入れていただいた。コロナ対策を十分取りつつ川の流れや数々の橋、変わりゆく街とのコラボを楽しんでもらえたことは私たちの喜びでもあった。その感想文書を次頁に掲載させて頂く。

私たち東京グリーンクラブは、今年こそ長い荒野の断食を終えて、新たに地域活動を始める機会としたい。

【特別寄稿】2020年10月13日(火)開催された、神田川を周遊する「千代田区立昌平小学校校外学習クルーズ」に関する寄稿

千代田区立昌平小学校
4年1組 担任 坪井 美佳

～神田川のことを伝えよう!～

児童にとっての「川」は、水の循環の中で生じた大自然の川のイメージをもつ児童が多くいました。本校のすぐ近くを流れる「神田川」。神田川は地域の川であり、学校の近くには、校歌にも歌われている「万世橋」「昌平橋」「聖橋」を見ることができます。しかし、児童は、その存在を認識し、名前を聞いたことがあっても、どこにあるのか、説明をされてなんとなく分かるくらいでした。神田川を目にしながらか昌平橋を通過して登下校する児童もいますが、通学路として素通りすることがほとんどでした。2年生や3年生の地域巡りで、通ったことはあっても、区域外通学の児童にはなじみが薄いのです。さらに、その色から神田川は「汚い」「臭い」というイメージをもっていました。

そのような児童が「神田川船の会」の皆さんとの出会い、船に乗せていただきました。日常とは真逆に船から橋を見上げ、間近で神田川を目にしました。「神田川から学校のある地域」を眺めながら神田川を巡ったことで、児童たちは、「神田川は本当にきれいになったのだろうか」という疑問をもちました。さらに、乗船体験中の説明により、川や橋の歴史についても興味を深めていきました。疑問を解決しようと、調べて行くうちに、神田川は、人々の生活を守るために人工的に作られた川として誕生したことや、生活を分断しないために多くの橋が架かっていたことを知ります。やがて、児童は、神田川が、「人」と密接に関わっていることにも気付きました。かつて『死の川』と呼ばれた神田川がどれほど汚れていて、人々の努力によって、魚が住めるまでにきれいになった事実が分かると、人との関わりは、生活だけでなく、川の水質問題も含まれており、「人」が川の未来を左右していると結論付けました。今も「神田川船の会」の皆さんが環境問題を中心に活動していることから、児童は、神田川の未来を考え、神田川への願いをもつようになりました。

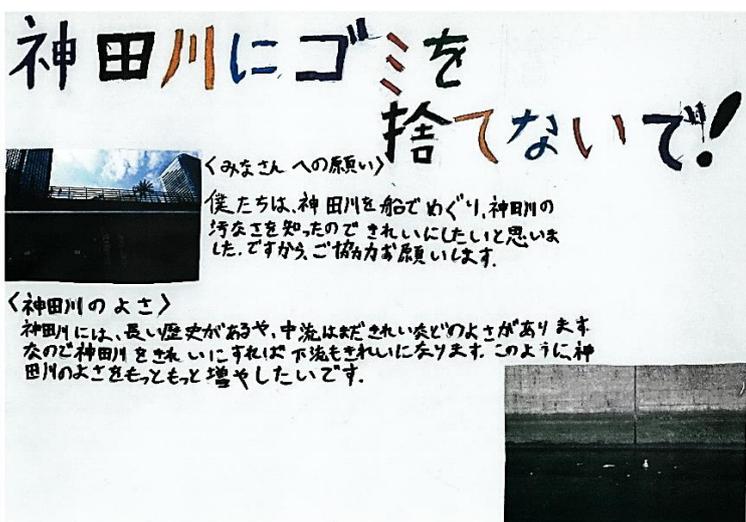
「神田川船の会」の皆さんの願いを受け、自分たちにもできることは、ないかと考え始め、話し合いを重ねる中で、「神田川を汚さないで」「神田川を守ろう」と発信するだけでなく、これまでの学習から「神田川の良さも伝えよう」と児童は動き出しました。

今回、それぞれの児童が自分の伝えたい方法で「神田川」への思いを込めました。児童にできることは、とても小さなことかもしれませんが、皆様の思いが児童に届いたのではないかと感じています。現在と過去を比較しながら神田川の現状や問題点に気づき、やがて、人との共生へと思考がつながり、神田川に対する見方や考え方が広がりました。さらに、未来へつなげるために自分ができることは何かを考え、神田川や神

田川を守ろうとする人のために行動しようと踏み出すことができました。今回の学習を通して、学区内にある神田川をより身近に感じられるようになり、神田川や本校の校歌に対し、より一層の愛着や誇りをもって、社会参画へもつなげられたのではないかと信じております。

乗船体験以後もお力をいただき、このような場を提供いただいたことで、児童は本気になって取り組むことができました。この場を借りて感謝申し上げます。

クルーズに乗船参加した生徒が看板を作成しました



2021年2月第二例会(役員会)報告

2月10日(水)14:30~16:30 Zoomによるリモート会議を行った。参加者は青木・浅見・柿沼・木村・佐野・西澤 布上S・布上Nの9名。

冒頭、会長から1/9の在京クラブ会長会の報告があった。17クラブ参加、各担当主事参加。グリーンは西澤会長、木村主事。次期会長はむかでクラブのホストが決定。本日の例会での決定事項は下記に。

- ①2月17日(水)もZoom例会とする。15:00-17:00
3月10日(水)Zoom役員会は15:30-17:00とする。
3月17日(水)例会もZoomで15:00-17:00を予定。
- ②今年の「神田川船の会」は5/8, 10/9の共に第二土曜日を予定して、可能であれば開催したい。
- ③昨年10月に実施した昌平小学校の「郊外学習クルーズ」に対しての先生からの寄稿文と生徒の作品集が届いたのでブリテンに掲載。
- ④別件でYMCA主催の父兄同伴乗船会企画。文科省からの支援金もある。3/21(日)開催で検討中。
- ⑤DBC京都パレスクラブ50周年行事が3月から5月に延期された。クラブとしてはその時期の様子を見る事に。
- ⑥東日本区 後期区費、各種献金など2/15支払確認。
- ⑦東日本区メネット委員会への支援金、前年通りに行う。国内・国際プロジェクトほかで25,200円振り込み。
- ⑧3/6区のZoomによる「次期部役員・次期会長研修会」樋口次期クラブ会長、青木次期CS主査の参加予定。
- ⑨「仮称:関東東部EMCの集い」を3/28 15:00-17:00 Zoomにて開催予定。(準備会議を3回行い、プログラムを作成中。関東東部の皆さんに参加していただきたい。ワイズの皆さんにもオブザーバー参加を歓迎する。



【EMCのつどい】準備委員会(2/7 Zoomにて)

- ⑩4/17(土)関東東部第3回評議会を開催予定。(会議の形式は検討中。リアルかZoomかなど)

2月 Happy Birthday

柿沼敬喜 西本東司
高谷恵子メネット 西本晃子



1. 1月16日、第15回子育て講演会が開催され、柴田愛子氏(りんごの木子どもクラブ代表)に「子どもの心をのぞいてみませんか」と題して講演をいただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催し、子育て中の保護者を中心に106名が参加し、好評でした。
2. 全国YMCAで取り組んでいるいじめ反対キャンペーン「ピンクシャツデー」が今年は2月24日に設定されています。東京YMCAでは1月30日には講演会「大人も学ぼう! いじめの構造と解決策」をオンラインで開催し、金子春菜弁護士と足立悠弁護士(ストップいじめ! ナビ弁護士チーム)にお話を伺いました。その他、東陽町では2月21日に高校生、大学生の学生ボランティアで「いじめ」について話し合うオンラインイベントを行い、いじめや差別について学ぶ取り組みを予定しています。



3. 今後の主な行事日程

- ・「第21回日本YMCA大会」2月23日(日本YMCA同盟主催)(オンライン) 基調講演: 関田寛雄氏(日本基督教団神奈川教区巡回牧師)
 - ・「東日本大震災10周年礼拝」3月6日(オンライン) 説教: 飯岡洋介氏(成増キリスト教会牧師)
 - ・東日本大震災10周年「福島パネル展」3月1日~6日 会場: 東陽町センター
 - ・「第8回日中韓平和フォーラム」3月6日(日本YMCA同盟主管)(オンライン) テーマ: 「はなれていても つながっている」
 - ・「第30回チャリティーゴルフ大会」4月8日(木) 会場: PGM総成ゴルフクラブ <参加募集中>
- (担当主事 木村 記)